

収穫予想表の更新等に関する研究

予算区分：県単	研究期間：令和3～7年度	担当：森林科学係 飯田 玲奈
---------	--------------	----------------

I はじめに

人工林の将来の収穫材積量等を推定するため、「群馬県民有林人工林収穫予想表・人工林林分材積表（昭和63年3月群馬県、以下、昭和63年群馬県収穫予想表）」が作成されたが、森林施業の多様化などにより、収穫予想と現状の林分の材積量等に差異が生じていると推測される。そこで本研究では、近年県内で実施した毎木調査結果及び現地調査から収穫予想表の更新等を行い、森林資源管理及び林業経営収支計画の精度向上や、森林施業の効率化に役立てることを目的とする。

II 方 法

スギ、ヒノキ及びカラマツにおいて、若齢林分及び高齢林分の毎木調査を行った。調査地は、県内民有林造林地及び県有林の中から選定した。標準地設定には森林計測アプリの目印機能を使用し、設定後水平距離の確認をバーテックスⅣで行った。胸高直径の計測にはデジテックBTを使用し、樹高の計測にはバーテックスⅣを使用した。

データを追加するため、第2期ぐんま緑の県民基金事業の毎木調査データを収集した。

III 結果及び今後の取組み

毎木調査により、若齢林についてはスギ11林分、ヒノキ22林分、カラマツ12林分、高齢林については、スギ5林分、ヒノキ10林分、カラマツ3林分のデータを収集した（図－1）。第2期ぐんま緑の県民基金事業の毎木調査データについては、森林簿及び林況写真により林齢の再確認、調整用データのとりまとめを行っているところである。今年度収集したデータを追加したうえで、収穫予想表を作成する。

謝辞

毎木調査にあたり、吾妻森林組合、上野村森林組合、赤城南麓森林組合、渋川広域森林組合、碓氷川森林組合、利根沼田森林組合、渋川森林事務所、西部環境森林事務所、吾妻環境森林事務所、富岡森林事務所に御協力いただいた。データ収集にあたり、（一財）群馬県森林・緑整備基金、群馬県森林組合連合会、林政課に御協力いただいた。本研究は宇都宮大学農学部森林科学科松英恵吾准教授に御指導いただいている。御礼申し上げる。



図－1 毎木調査位置図